## 町田市公共施設再編計画のご意見募集実施結果

町田市公共施設再編計画の策定にあたって、ご意見募集を行いました。

たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。いただいたご意見を参考に、これまでと大きく異なる社会環境の中でも、将来の町田を担う世代に負担を負わせることなく、施設を適正に維持管理することはもとより、新たな価値の付加やさらなるサービスの向上を図り都市の魅力を高めていくための取り組みを行ってまいります。

市の考え方等については、次ページ以降をご覧ください。なお、ご意見は項目ごとに整理し、要約して掲載しています。

## 1. 意見の募集期間

2017年6月15日(木)~2017年7月17日(月)

## 2. 意見募集の方法

●以下の施設での資料配布・閲覧

企画政策課、市民相談室、市政情報課、各市民センター・連絡所、各コミュニティセンター、 各市立図書館、町田市民文学館、生涯学習センター、市民フォーラム

●町田市ホームページへの資料掲載

## 3. いただいたご意見の内訳

電子メール、FAX、窓口への提出を通じて、91名の方から296件のご意見をいただきました。 ご意見の内訳は以下のとおりです。

【こ意見の内訳】

ご意見の要旨	件数
① もっと具体的な内容を示して欲しい。そのうえで市民の意見を聞いて欲しい	29
② もっと多くの市民(利用者・地域住民、多様な立ち場の人)の声を聞く機会を設ける/ き(時間・回数・機会・手段を増やす)	26
市の実施している取り組みや考え方、財政情報等についてきちんと説明責任を果たすべき。より積極的に説明や情報発信をすべき	25
④ 長期的な視点をもって将来に備える必要性があるということへの理解	9
⑤ 再編にあたっての基本的な考え方や市の取り組みに疑問がある	4
⑥ 再編を通じて町田市が今後も魅力的であり選ばれる自治体であるようにしていかなければならない(それによって財源の増加)	. 12
⑦ コストのかけ方について、もっと見直すべき点(職員の人件費、無駄)やバランスのとりががあるのではないか。一部のものに過剰に投資している(陸上競技場、美術館等)	37
⑧ 文化教育に力を入れるべき	15
(9) 真に必要な施設・サービスの見直しを行い、公共として廃止すべきものについては廃止するべき	L 11
<ul><li>単なる数値(利用率・稼働率)や現状だけから方向性を導くのではなくその他(経緯・必然性・特殊性等)の要素をよく検討して欲しい</li></ul>	30
① 具体の事業のあり方やコストの見直しの必要性	9
⑫ 施設の整備や改修・改善の要望	7
③ 多機能化・複合化、多世代・多目的利用に対する肯定	20
④ 多機能化・複合化、多世代利用に対する否定	2
⑤ 集約に対する肯定	13
16 集約に対する否定	11
① (集約した複合拠点ではなく)小規模でも地域に分散した施設が良い	4
⑱ 地域性(の違い)を重視して欲しい	6
⑨ 再編と並行して交通手段や駐車場の充実・確保が必要である	8
② 民間活用(市民含む)や民間事業者からのアイデア募集等を積極的に進めるべき	7
② 民間活力の導入については、その目的や対象、影響等を踏まえて慎重に検討すべき	3
<ul><li>② その他</li></ul>	8
合	† 296



	ご意見の要旨	ご意見の例	件数	市の考え方
1	もっと具体的な内容を示して 欲しい。そのうえで市民の意見 を聞いて欲しい	・○○○(個別施設名)はどうなるのか・具体的な施設についての説明がない・もっと具体化したものを示して意見募集をして欲しい	29	今回のご意見募集は、今後、個別施設のあり方等を検討するにあたって、そのベースとなる再編にあたっての考え方や方向性の案についてお伝えし、市民の皆さまのご意見を伺ったものです。 再編計画としましては、取り組みを時期(短・中・長期)毎に分け、特に2018年度~2026年度の短期の取り組みについては、「短期再編プログラム」として、より具体な取り組み内容とスケジュールを定め、あらためてご意見募集を行う予定です。 また、個別施設の具体的な再編内容については、2018年度以降、再編プログラムの工程等に沿ってより詳細な検討や調整を行ってまいります。 ※再編計画策定時に既に決定しているものは除きます。
2	もっと多くの市民(利用者・地域住民、多様な立ち場の人)の声を聞く機会を設けるべき(時間・回数・機会・手段を増やす)	・利用者・当事者への事前説明の実施や意見を丁寧に聞いて欲しい・多くの市民の意見を聞かないといけない・市民と一緒に考える姿勢や機会が必要・説明会の参加者が少ない	26	いただいたご意見等を参考にしながら、より多くの方のご意 見を伺えるよう、今後も多様な機会を設けてまいります。
3	市の実施している取り組みや 考え方、財政情報等について きちんと説明責任を果たすべ き。より積極的に説明や情報 発信をすべき	・これまでに市が努力したこと及びその結果・効果を先に示して欲しい・財政状況や政策等について明確にわかりやすく伝えて欲しい・市民に現状や状況が伝わっていない・必要な情報は広く公開する	25	いただいたご意見等を参考にしながら、今後も取り組みの 状況や現状のデータ等について、積極的に情報発信する ことで、できるだけ多くの方にご理解・ご協力いただける計画 策定に努めてまいります。 なお、取り組みの状況等については町田市ホームページ等 で公表しています。町田市公共施設再編計画策定検討 委員会については公開の会議であり、傍聴が可能です。 →トップページ>市政情報>行政経営に関すること>行 政経営改革>公共施設マネジメントに関する取り組み https://www.city.machida.tokyo.jp/shisei/gyousei/keie i/kokyoshisetsumanagement/index.html
4	長期的な視点をもって将来に 備える必要性があるということ への理解	・このまま施設の維持ができないということを理解する必要がある。価値観を変えないといけない。 ・時代は変化し、行政の優先順位も刻々と変化している ・持続可能な地方自治体へ、部分最適から全体最適へ	9	町田市の公共施設等をとりまく状況や課題についてご理解いただきありがとうございます。将来につながるより良いかたちの実現のためには、市民の皆さんのご理解と参画が必要不可欠であり、今から、将来に向けて必要な対策を進めていくことが重要です。市としても、今後も様々な機会を通じて、情報の発信やご意見を伺ってまいります。
5	再編にあたっての基本的な考 え方や市の取り組みに疑問が ある	・「サービス・機能」見直しにおいて、「4つの視点」からの分析は正しいのか・複合化も圧縮もしない施設もあるべきではないか	4	町田市では、今後のより厳しい財政状況においても必要なサービスを維持・向上し、将来を見据えたより良い公共施設・公共空間を実現するために、検討を進めているところです。 できるだけ多くの方のご理解を得られる内容としていくために、今後も市民の方のご意見等を参考にしながら検討を進めてまいります。
6	再編を通じて町田市が今後 も魅力的であり選ばれる自治 体であるようにしていかなけれ ばならない(それによって財源 の増加)	・地域の魅力が向上するような場をつくる べき ・誰でも住みたくなる街になるような取り 組みをすべき ・活気を生み出す工夫やまちづくりが必 要	12	町田市では、人口減少社会の到来を見据え、市内外の人から選ばれるまちとなるための魅力づくりに資する取り組みを積極的に進めております。 公共施設の再編においても、今回いただいたご意見等を参考にしながら、単に施設を縮減していくのではなく、これを契機として将来につながるより良いかたちへと変えることで、市や地域の魅力を向上していくことを目指してまいります。

	ご意見の要旨	ご意見の例	件数	市の考え方
7	コストのかけ方について、もっと 見直すべき点(職員の人件 費、無駄)やパランスのとり方 があるのではないか。 一部のものに過剰に投資して いる(陸上競技場、美術館 等)	・他にも無駄や改善すべきことがあるのではないか・施設を減らそうとする一方で大きな投資が進んでいる(野津田公園の整備、薬師池公園、芹が谷公園、南町田駅周辺整備等)	37	町田市の基本計画である『まちだ未来づくりプラン』の実行計画である『町田市5ヶ年計画17-21』において、施設の再編だけでなく、並行して市役所の生産性の向上や行政サービス改革を進めているところです。また、『町田市5ヶ年計画17-21』にて、市内外の人から選ばれるまちとなるための魅力づくりや、高齢化に対応した地域の支えあいの構築などに資する事業を重点的に取り組む事業として選定しています。ご指摘のあった事業については、15年後も30年後も選ばれるまちを実現するための重点事業として選定したものです。  ※重点事業の選定基準や対象事業等の詳細については、『町田市5ヶ年計画17-21』(https://www.city.machida.tokyo.jp/shisei/shinokeikau/plan/5kanen17-21/gokanen17-21.html)にてご覧いただけます。  事業選定基準  ①学業の実施によって、近隣の都市はり支援が保護し資産の都がでは与支持なが構造、資産の影響では与支持なが保護し資産の都がでは与支持なが表し、近隣の都市よりも先達的な変り組みてある。  ②学業の実施によって、近隣の都市よりも先達的な変り組みてある。 ②学業の実施によって、前日市の成内の資源を書大展活用している。 ②学業の実施になって、前日市の成内の資源を書大展活用している。 ②学業の実施によって、前日市の成内の資源を書大展活用している。 ②学業の実施になって、前日市の成内の資源を書大展活用している。 ②学業の実施になって、前日市の成内の資源を書大展活用している。 ③学業の実施になって、前日市の成内の資源を書大展活用している。 ③学業の実施になって、前日市の成内の資源を表示を表したができる。 ③学業の実施になって、前日市の成内の資源を表示を表しまして、主義な原意の対策を与えることができる。 ③学業の実施される。 ③学業の実施される。 ③学業の実施になって、前日市の成内の変を表示を表していままな研究を表示を表し、 ②学業の実施によって、前日市の成内の変を表示を表していままなな。 「第24年の実施されることで、主義な原意なが表し、近点の実施される。」 ③学業の実施と与えることで、主義な原意なが表し、200年により、ことができる。  『町田市5ヶ年計画17-21』(23ページ)より
8	文化教育に力を入れるべき	・市民が地域で学習活動に参加できるようにする ・市民自らが学ぶ中で育ち、地域に還元していくことが地域づくりに繋がる ・図書館や集会施設は、地域の文化を育むものである	15	『町田市5ヶ年計画17-21』では、まちづくり基本目標 I として「将来を担う人が育つまちをつくる」を掲げています。 また、まちづくり基本目標Ⅲの「賑わいのあるまちをつくる」の 基本政策のひとつとして「文化芸術活動やスポーツが盛ん なまちをつくる」を掲げています。 公共施設の再編を進めるにあたっても、これらの事業の推 進と連携して検討を進めてまいります。
9	真に必要な施設・サービスの 見直しを行い、公共として廃 止すべきものについては廃止 するべき	・時代の変化に応じた選択的削減を進めるべき ・町田市にとつて真に必要な施策に税金を使って欲しい ・小さな自治体を目指す ・この先を見越して決断が必要	11	公共施設の再編は、施設を減らすことが目的ではなく、今後予測されるより厳しい財政状況下においても、将来にわたって必要なサービスを維持向上させることです。再編を進めるにあたっては、ご指摘のとおり必要な施設・サービスの見直しを並行して行ってまいります。  ※『5ヶ年計画17-21』の「行政経営改革プラン」においては行政基本方針に沿って11の改革項目及び48の取組項目を定めています。
10	単なる数値(利用率・稼働率)や現状だけから方向性を導くのではなくその他(経緯・必然性・特殊性等)の要素をよく検討して欲しい	・経済的理由や利用状況のみで判断しないで欲しい ・過度な効率性の追求はなじまない施設もある ・それぞれの施設の意義や性質を見極めるべき	30	再編の方向性を検討するにあたっては、単に現状の数値だけで一律に判断するのではなく、いただいたご意見等も参考にしながら、多様な側面から検討し総合的に判断してまいります。

	ご意見の要旨	ご意見の例	件数	市の考え方
11)	具体の事業のあり方やコスト の見直しの必要性	・高齢者福祉センターは、時代にあった事業内容に見直す ・美術館・博物館は、採算性も考慮し事業の見直しや方向転換を図るべき・フォトサロン単体でなく町田の観光・レクリエーション全体の枠の中で考えるべき	9	ご意見として承り、今後の検討の参考とさせていただきます。
12	施設の整備や改修・改善の要	・会議ができる部屋を増やして欲しい・文化ホール施設では、大規模なホールではなく小規模なホールを増やして欲しい・公共施設内に、食事・懇談ができる場所が欲しい	7	今後、学校を中心とした老朽化した施設の建替え時期を 迎えるため、施設の維持にかかる費用が大幅に増大することが見込まれています。既存施設の改修・改善等について も、その必然性や緊急性等を考慮して計画的に実施して いく必要があります。 ご要望については、ご意見として承り参考とさせていただきます。
13)	多機能化・複合化、多世代・ 多目的利用に対する肯定	・1つの施設に多くの機能があることで利便性が向上する ・多様な活動で幅広く利用でき、コミュニティの場となる ・みんなが集える施設が便利で合理的 ・高齢者と子どもが交流できる	20	今後全ての建物を維持していけない中で必要なサービス・機能を維持していくために、さまざまなサービスや活動の拠点となりうる建物を複合化・多機能化して維持していくことで、多様な人々の活動の拠点となり、地域の活力や魅力につながるよう、いただいたご意見等も参考にしながら検討を進めてまいります。
14)	多機能化・複合化、多世代利用に対する否定	・それぞれの施設の性質を見極めるべき・同じ施設に多様な機能を持たせても相乗効果が生まれるとは限らない	2	「町田市公共施設等総合管理計画(基本計画)」において、施設総量の削減や増加の抑制を図る具体的な取り組みの一つとして多機能化・複合化を掲げました。再編を進めるにあたって、残す建物については、原則として多機能化・複合化し地域の多様な活動の拠点とすることで、建物に係るコストの軽減を図りつつ、サービス・機能の維持・向上を図っていくことが必要だと考えております。今後、具体的な多機能化・複合化を伴う再編を検討する際には、いただいたご意見等にも考慮しながら検討を進めてまいります。
15	集約に対する肯定	・限られた資源を効率的に使うために集 約を進めるのがよい ・同じ機能の施設は統廃合すべき ・規模の小さい施設は利用勝手が悪い	13	施設を集約することで、建物に要するコストを削減するほか、集中した投資をすることでサービスの拡充を図ることも可能となると考えております。 いただいたご意見等も参考にしながら検討を進めてまいります。
16	集約に対する否定	・徒歩圏ではなくバスに乗ることは、市民にとってハードルが高い ・防災など地域コミュニティにとって大切な施設は安易に縮小すべきではない ・増やせないなら、せめて減らさないで欲しい	11	今後、全ての施設機能を都市核・副次核に集約していこうとするものではなく、広範囲の市民や市外からの利用者等も対象としたサービスは広域的な利用がしやすい立地等を配慮して集約を検討していくことを考えています。 一方で、身近に必要なサービスについては、適当な配置や量等を考慮しながら多機能化・複合化、官民連携、空きスペースや時間の活用、民による公共・公益的サービス等により地域に維持していくことを検討していきます。
17)	(集約した複合拠点ではなく) 小規模でも地域に分散した 施設が良い	・身近な施設を活用して分散化したほうがいい ・小さくても施設の数は多くあるほどよい	4	市が今後も維持・管理しサービスを提供する公共施設については、原則として一定規模の大きさや立地条件を配慮し、地域の拠点となる複合・多機能施設へ再編していくことを考えています。これは、維持管理コストを軽減する効果だけでなく、多様な人々の交流や活動が関わりあうことにより、新たな価値や地域の活力・魅力に繋がる効果が期待できるためです。
18)	地域性(の違い)を重視して 欲しい	・地域の特性を考慮し、地域の強みを活かすべき ・各施設を各地区に平均化して配置して欲しい ・地域住民の協力が必要	6	今後、再編計画に基づき具体的な施設の再編を検討していく際には、地域の状況等についても十分に考慮し検討を進めてまいります。

	ご意見の要旨	ご意見の例	件数	市の考え方
19	舟柵(型1) しく文通士段で	・施設への移動手段も地域性に合わせ 考えていけるとよい ・施設が減るとしたらバスなどの移動手段 の利便性を向上する必要がある ・複合化等が進めば駐車場を広く備える ことが必要になる	8	再編にあたっては、公共交通や駐車場についても配慮して 検討してまいります。
20	大川市市(川大さむ)で大川    東米夫からのフィニフ首集生	・ボランティア及び民間提携により運営負担を軽減する ・地域の財産は、地域による維持という 視点も必要 ・地域の大学、企業なども参加すれば新 しいアイデアも生まれる	7	これからも持続可能で豊かな地域社会をつくるためには、 行政だけでなく、市民の方、民間事業者の方など、多様な 主体が活躍することが重要となります。 いただいたご意見等も参考にしながら、多様なアイディアや ノウハウを持つ方々との連携を進めながら、より良い形を目 指してまいります。
2	民間活力の導入については、 その目的や対象、影響等を踏 まえて慎重に検討すべき	・民間委託の方がコストがかかる場合も ある ・安易な指定管理は避けるべき	3	民間活力の導入の可能性については積極的に検討する 必要があると考えますが、検討の結果、その導入が適当な ものについて実施するものです。 具体的な施設における民間活力の導入については、ご指 摘のとおり、その効果や影響などを踏まえ、総合的に検討 し判断してまいります。 ※民間活力の導入とは、民間委託や指定管理だけでな く、地域による運営や民による公共・公益的活動、民間資 金の活用等も含む。
22	その供	・動物(ペット)のことも考慮した施設再編をして欲しい ・障がい者に優しいまちづくりができれば 誰もが暮らしやすい安全なまちになる ・物質的な満足から精神的な満足へ、 日本の良さの再認識をする	8	ご意見として承り、今後の検討の参考とさせていただきます。